

## 平成25年第1回定例会一般質問

平成25年第1回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 2月7日(木)・8日(金)・15日(金) いずれも午前10時から

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話042-387-9947)

2月7日(木)

氏名	発言の表題
中山克己	1 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの支援体制の強化を
	2 小金井市まちをきれいにする条例の周知徹底を
	3 道路の縁石の段差解消を
宮崎晴光	1 都市計画道路3・4・8号線の諸問題について (1) 計画と現状について (2) 残地の扱いをどうするか (3) 残った敷地に家を再建するための具体的方策について (4) 生活再建の見地から建坪率・容積率を見直せないか
	1 社会問題になっている体罰について (1) 体罰についての認識を問う (2) 実態把握と取組について
	2 高架下利用について (1) 自転車駐輪場の整備状況について (2) 高架下の公租公課分で当初予定をしていたシルバー人材センター事務所やアンテナショップ等の設置方針について
	1 来庁者や転入者、転居者に対するサービス向上について (1) 本庁舎の入口付近で第2庁舎にある市民課窓口を探す人がいまだに多い、本庁舎入口に「わかりやすい表示をつくらないか」と再び提案したい (2) 転入者に対して、ごみカレンダー等の資料一式の手渡しを徹底するとともに、第2庁舎4階のごみ対策課を案内して、ごみ有料袋やごみ分別の方法について説明を受けるよう推奨しないか (3) 「わたしの便利帳」には貴重な情報が満載されている。市外から転入の場合に限らず、市内で転居して新たな生活を始める場合や、親の介護のために新たに市内で同居を始める場合等にも、窓口で積極的に手渡すようにして、利用を促進しないか (4) 近隣四市の公共施設利用についても、転入手続きの際、資料(利用ガイド)を渡すなどして、周辺市との連携利用の周知をおこなわないか
宮下誠	2 市役所はサービス業と自覚し、職員勤務の工夫をはかれ (1) 昼食の時間を課内で前後にずらし、正午から1時までの電話対応や窓口対応を柔軟におこなわないか (2) その日の業務内容に応じて、所属長の了承のもと、出勤時間をずらして勤務することで、業務の柔軟対応と超過勤務の抑制をはからないか
	3 芸術文化の振興のために (1) はげの森美術館発信のメールマガジンや、交流センター使った紹介展示、アートフルアクションや近隣市の美術館との連携企画、ココバスを使った広告など、工夫をこらして芸術文化の振興に努めないか (2) 昨年春、本格オープンした市民交流センターに「社会貢献型自動販売機」を設置しないか

武井正明	1 特定健診が近隣市の診療できるように (1) この間の検討経過を明らかに (2) いつまでに決着するつもりか
	2 J R東小金井駅高架下の利用について (1) ラインモール構想にもとづく店舗出店計画についてJ R、商工会の話し合いは どうなっているか (2) 西口改札はいつ開設するのか
	3 1月15日閣議決定した13兆円の補正予算について (1) 地方自治体関連の内容は (2) きびしい本市の財政状況の中で活用できるものは積極的に利用すべきと思 う がどうか
紀由紀子	1 市民の命を守るための防災・減災対策について (1) 橋りょうの点検・改修を早急に行わないか（野川にかかる二枚橋、小金井新 橋、中前橋、天神橋、丸山橋、大城堀橋） (2) 近隣の大学（農工大学、学芸大学、法政大学、東経大学、亜細亜大学等）と の防災協定を結ばないか
	2 通学路の安全点検・安全対策の強化について (1) 対策必要5箇所のうち、2箇所（農工大通り、霊園通り）が、対策実施状況 が、未定となっているが、見解を問う (2) 児童の安全確保のため、早急な対応を行うべき
	3 本年は市制55周年、小金井市・三宅村の友好盟約35周年、観光協会60周年の節 目の年である。いくつかのテーマを設定した小金井市の「まちフォトコンテスト」 を開催し、内外に小金井市・友好都市三宅村のP Rを行わないか
露口哲治	1 市財政について問う。今後、ごみ処理施設建設、庁舎建設など多額の財源が必要 となる。 (1) 地方債残高と将来にわたる財政負担について (2) 施設白書と市の財政について (3) 自民党政権誕生後の市財政への影響について

2月8日（金）

関根優司	1 仙川の整備について
	2 公務員住宅の仙川南側跡地の活用について
	3 武蔵小金井駅北口の整備に市民の声を（完成後と暫定的安全対策の両方に）
	4 ゲストハウスの貧困ビジネスについて国に規制強化を求め、市に転宅要求への 対応を求める。
渡辺ふき子	1 C o C oバスにICカードを導入し、利便性の向上を (1) 武蔵野市のムーバスには、スイカとパスモの利用が可能となっているが、C o C oバスへの設置を求める。
	2 難聴者の早期発見、早期治療のため、検診等の充実を (1) 認知症の要因の一つに聴力の低下が挙げられている。検診事業の中で、聴覚 検診を実施し、早期発見につとめるべき。補聴器購入に対する公費補助を行わ ないか (2) 小児の難聴は、早期発見により言葉の発達に大きく影響を与える。乳幼児の 聴覚検診の周知、充実につとめるべき
	3 高齢者の健康寿命アップを目指し、介護予防体操の取り組み拡充を (1) 小金井さくら体操の会場を増設すべき。地域の公園等を使って、誰でも参加 できる体操会場を拡充しないか (2) 東小金井市政センターに多目的室を設置し、介護予防体操や高齢者が集うサ ロンとしても活用すべき。介護予防体操の後に行っている、参加者の交流が好 評である。介護予防体操と高齢者を見守る、喫茶ができる交流サロン会場を市 内各所に設置しないか
	4 J I C Aボランティアへの職員派遣制度を職員に周知、推進し、多様な価値観 と経験をつかむ貴重な機会を活かすべき

水上洋志	<p>1 防災対策の強化を求める  (1) 東日本大震災以降の防災対策強化の現状について  (2) 都の防災計画などを受けた市の地域防災計画の見直しについて  (3) 建物倒壊などへの対策強化を求める</p> <p>2 放射能対策をよりきめ細やかに行い市民の不安を取り除くよう求める  (1) 測定器をより精度の高いものに  (2) きめ細かな測定を求める</p> <p>3 まちづくり事業用地に図書館や高齢者のための施設など必要とされる施設整備を求める</p>
片山薫	<p>1 2009年の施行以降、「子どもの権利に関する条例」がどのくらい有効に活用されたのかを検証する  (1) 子ども福祉施策全般でどのような役割を果たしたか  (2) 教育施策の中ではどのような役割を果たしたか  (3) 市の全体の施策の中ではどのような役割を果たしたか  (4) 今後、条例の有効活用について、どのような検討がされているのか</p> <p>2 環境配慮住宅型研修施設（旧雨デモ風デモハウス）の有効活用について  (1) エクセルギーの理念を体現する名称「雨デモ風デモハウス」が採用されなかったのはなぜか。エクセルギーの理念をそもそも市はどのように把握しているのか  (2) 市民協働で作りに上げられてきた経過をどのように評価しているのか  (3) 今年度の施設活用の状況と来年度の管理、活用について。地球温暖化防止、環境施策と市民協働の最先端として、市民とともにどのように有効活用していくのか</p>
田頭祐子	<p>1 地域の「縁側」＝「縁が輪」を作ろう。孤立化させない地域づくりの観点で、身近な地域で誰もがフラッと気軽に立ち寄れる居場所づくりが重要だ。地域の公助をはぐくむ「縁側」＝「縁が輪」づくりをすすめないか  (1) 地域福祉ファシリテーター養成講座の意義について  (2) 地域福祉ファシリテーター養成講座卒業生の活動状況は  (3) 行政に求められるニーズは何か  (4) 今後の計画について</p>
遠藤百合子	<p>1 道徳教育のすすめ。小金井市の小中学校の子どもたちの学力は、ここ数年常にトップクラスである。一般的に子どもたちの規範意識は低くなってきたと言われており、心の教育として道徳教育の充実を図っていくことが大きな意義を持ちます。  (1) 小中学校での道徳教育の現状と家庭や地域との連携は  (2) 子どもたちの心の充実を図るとともに、自尊感情を高めていくには</p>

2月15日（金）

漢人明子	<p>1 男女平等な未来をめざして。「2020年30%の目標」－「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする」という内閣府男女共同参画推進本部の目標－、および、「小金井しあわせプラン」の目標－審議会などへの女性の参画率、2015年50%－を達成するためのポジティブ・アクションを  (1) 小金井市の現状－市役所管理職、審議会等、議会、民間企業など  (2) ポジティブ・アクションの推進を。市役所管理職、審議会などの女性比率アップ。公共契約を通じた取り組み。総合評価入札制度、公契約条例の役割と現状</p> <p>2 小金井市第4次男女共同参画行動計画の策定について  (1) 庁内推進体制における企画政策課男女共同参画室の意味と役割  (2) 公共契約におけるポジティブ・アクションの位置づけ  (3) 性的マイノリティを含む多様な性の人たちに平等な社会をめざす計画となっているのか</p>
------	--

渡辺大三	<p>1 「脱ムダ」で市政を変えるーさらなる行財政改革の断行をー市民にとっても、民間にとっても、厳しい時代が続いている。市役所は、行財政改革を徹底し、人件費などの行政コストを縮減しなければならない。そのような観点から、以下のことについて伺う</p> <p>(1) これまでの行財政改革について</p> <p>(2) これからの行財政改革について</p> <p>2 任期を終えるにあたり、市政の重要課題について問う。3月24日に市議会議員選挙が行われる。任期中最後の一般質問になるので、市政の重要課題について、市長の考えを伺う</p> <p>(1) 可燃ごみ処理問題について。一昨年12月に行われた市長選で、稲葉市長は、「平成24年度末（平成25年3月）までに実現可能な方策を示す」と公約し、市長職に復帰した。現時点でこの公約は履行されていないが、自ら定めた期限までに履行すると理解しているのか。昨今「ごみ非常事態宣言」の風化を感じる。さらなる減量に向けての決意と具体策を聞きたい</p> <p>(2) 庁舎問題について。議会に示されている建設スケジュールを不転の決意で履行するのか、あるいはそれすらも流動的なのか</p> <p>(3) 市民交流センターの欠陥問題について。いまだに管理規約の締結も行われていないが、その後、欠陥解消に向けて、UR都市再生機構や関係者との協議はどのようなものか</p> <p>(4) いずれも構想段階の「武蔵小金井駅南口第2地区再開発」及び「武蔵小金井駅北口再開発」について。街の「あり方」について、市としての基本的な考え方は。極めて厳しい財政の中、市としての関与はどの程度までを想定しているのか</p>
板倉真也	<p>1 地域の交通対策の充実を</p> <p>(1) 第4小学校から小金井警察署へ向かう連雀通りの交通渋滞解消策の確立を</p> <p>(2) 小金井街道の坂上交差点から坂下交差点までの区間に自転車レーンの設置を</p> <p>2 公民館事業費の拡充を</p> <p>(1) 「公民館活動の更なる発展」をうたった第2次生涯学習推進計画にもとづく、公民館活動の充実策を問う</p> <p>(2) 第4次基本構想・前期基本計画で「充実」をうたう公民館活動の方針を問う</p> <p>(3) 「推進計画」「前期基本計画」での生涯学習をすすめるためにも、事業費の拡充を</p> <p>3 孤独死ゼロへの対策の充実を</p> <p>(1) 孤独死をなくすとりくみの現状と今後の充実策を問う</p> <p>(2) ひと声訪問事業を事業見直し以前に戻せ</p> <p>(3) 高齢者緊急通報システム事業を事業見直し以前に戻せ</p> <p>(4) 希望するひとり暮らし高齢者等に対応できる事業へと施策の拡充を</p>
森戸洋子	<p>1 国保税などの負担の軽減と第三次行革大綱における市民の負担について市の見解を問う</p> <p>(1) 市民の健康予防策であるがん健診や独自健診等の有料化について</p> <p>(2) 公民館、集会施設の有料化について</p> <p>(3) 国保税の増税を見直し、安心して医療にかかれるように</p> <p>(4) 市民の生活を守る上で、リース庁舎早期解消と大型公共事業の見直しなどは不可欠</p> <p>2 調布飛行場問題について、市の見解を問う</p> <p>(1) 過去に調布市内の小学校で墜落事故がおこっている。最近では高校のグラウンドに不時着するなどの実態がある。調布飛行場問題についての経過を市はどのように認識しているのか</p> <p>(2) 東京都に対し、小金井市民と市議会への説明を求めるべきではないか</p> <p>(3) 東京都と小金井市で協定を締結することについて</p> <p>3 放し飼いにされた動物等の対応について</p> <p>(1) ハトの糞などの害に悩む市民からの訴えに、市は敏速な対応を</p> <p>(2) 飼い主のいないネコの対策について問う</p>
青木ひかる	<p>1 駅近の買い物難民に対策を。東小金井駅北口地域で買い物に不便をきたす状況が生じている。自治体として対策を</p> <p>(1) 商工業者と連携して移動販売を行わないか</p> <p>(2) 地元農業者の協力を得て駅北口に仮設の直売所をつくらないか</p>